



こんにちは

村田 けい子

です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56)

2020.6.26

No257

事業系ごみ袋を新設し、別ルートでの収集へ【前号の訂正版】

今年12月に新クリーンセンターが本格的に稼働予定。ごみ収集方法も変わり、可燃ごみ袋も町独自に作成することに。以前より容量が小さくなり、価格も下がります。従来のごみ袋は来年の3月末まで。それでも残った場合には、「衣類など出すときにお使いください」(担当)としています。

可燃ごみ袋(20枚入り) 一般	従来	11月から販売
45ℓ	550円	40ℓ 500円
30ℓ	440円	20ℓ 250円
15ℓ	330円	廃止

* 事業系可燃ごみの処理について

事業系の指定袋を新たに導入し、収集方法も変更予定。今後、事業者の説明予定。45ℓ 10枚 1,000円 とし、事業者のごみ収集は、独自ルートでの収集をお願いしたいとの事。これまででも一般の家庭系ごみと、事業に伴うゴミ(事業系ごみ)とは収集や料金体系が異なっていました。(一般家庭ごみは収集運搬料金については全額税金)。



「事業系ごみは町直営収集で対応」は間違いでした。お詫びして訂正します。

【これまで】

事業者は、事業に伴うゴミの収集について、町の集積所を利用し直接収集をしてもらうために、**収集運搬手数料を年額で納めて**いました。そのためにごみ収集を依頼する事業者は事前に申請し登録。収容人数により手数料は異なります。

(右表を参照 非営利事業者7件)

独自で収集業者に依頼している事業者は、運搬料と 10円/kgの処理料金を支払っています。そうした事業者との均衡を図るという意味もあるそうです。

手数料	区 分
12,000 /年	50人以下の収容能力を有する宿泊施設、飲食業、青果物魚介類等食料品販売店 47件
36,000	51~100人 5件
60,000	101~150人 1件
96,000	151~300人 0件
120,000	301人以上 1件

「50人以下の収容能力を有する宿泊施設、飲食業、青果物魚介類等食料品販売店は年額1万2千円」であり、合計47件と全体の76%を占めています。登録事業者は62件(2020年、3月末)。

【これから】 2020年12月からは、手数料は廃止し、ごみ袋代金に上乗せされます。

- ①事前に事業者を把握。
- ②事業者にはごみ袋を購入してもらう。
- ③事業者は運搬業者と契約し、戸別収集か、地域ごとの収集場所を設けるなどの工夫をするのか、各地域ごとの話し合いで決めてもらう。としています。

【お問い合わせ】

建設環境課生活環境係

☎(88)8411



自分で作った
柏餅

今週のパチリ

地元のRさんを先生に柏餅づくりに挑戦。事前にあんこと柏の葉を用意し、「みそ味も」のリクエストにお応えして、塩菓堂さんから白あんを購入。9条みそを練りこんで2種類のアんこを用意。

米粉を熱湯で練って団子にし、のし棒でのして茶筒の蓋で丸く抜く。そこに丸めたあんこを入れて柏の葉でくるみ蒸し器で蒸して出来上がり。マスクをしながらも久しぶりのおしゃべりが弾みました。おいしかったこと！またやりたいね！

議会の新型コロナウイルス感染症対策会議開かれる 6月19日(金)開催予定

緊急事態宣言が解除されましたが、依然として、感染者が後を絶たず、予断を許さない状況を受けて、町議会として、町に要望書を出そうと議長を中心に要望書文案の取りまとめを行っています。事前に原案が示され、それぞれが意見を申し出て、それを基に対策会議でたたき台を作り、再び19日に議員全員で議論し、総意として確定することになっています。

私も議長あてに要望を取りまとめて提出してありますが、議会として議論してもらい、議員全員の総意を町に申し入れます。原案は

- 1、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を有効活用すること。
- 2、正確でわかりやすい情報提供に努めること。
- 3、自然災害等に備え、感染症の拡大防止に向けた避難所の確立を図ること。
- 4、感染症予防物品(マスクや消毒液等)の備蓄に努めること。また、必要に応じて町内の医療機関や介護施設等に提供すること。
- 5、立科町出身の学生支援の拡充を図ること。
- 6、誹謗中傷、風評被害、人権侵害等が発生しないよう対応を図ること。
- 7、業務にあたる職員の健康面等への配慮を図ること。
- 8、佐久地域等の市町村と協力連携し、感染症の検査体制の拡充や観光振興等の推進を図ること。

【私が追加した意見】

1について

①第2次補正予算に盛り込まれた、ひとり親家庭など児童扶養手当受給世帯への5万円給付(子ども一人増えるごとに3万円追加)の前倒し支給

②国保加入の事業主・フリーランスにも傷病手当金を創設

③今年度の保育園、学校給食費を無料とすること。
南牧村、南北相木村の南佐久地域、御代田町などは無料化を進めています。ぜひ当町でも導入し、子育て家庭への経済的負担の軽減を図りたい。

(2として、教育についての項を追加提案しました。以後順次番号を繰り下げる)

2、こどもの心身のケアに努めるとともに、職員の所得補償に努められたい。

①不足した授業時間を解消するためにと短期間で解消を求めず、学校が楽しいと感じてもらえる授業、行事を保障されたい。子どもの心身のケアに留意されたい。

②次の緊急事態では、一斉休校は行わず、分散授業など3密を避けての工夫をして、子どもの学習権を保障すること。

③児童館では、「共働き」だけでなく、希望する児童を受け入れること。

④学校の体育館や校庭の使用を認めること。(子どもの居場所を学校が提供すること)。また図書館も予約制で利用するなどの開放を。

⑤高校講師や臨時教員など、時間給や非正規で勤務している人の所得実態を把握し、減収分を補填するなどの収入確保。

2について

①10万円の臨時給付金などの高齢者や障がい者などへの申請支援。

3について 防災計画に感染症対策を追加すること。

5について

自宅待機を強いられている学生はPCやネット環境の整備が求められ、アルバイトのできない中、アパート代などを支払い続けています。経済的支援を強めて。

7について 追加で、臨時給付金の交付や相談業務の増大に対応するよう、適切な職員増員を図り、業務負担を軽く。

9を追加

川西赤十字病院などの公立・公的病院の縮小・統廃合計画を中止し、医療体制の人的充実にも資するよう、財政面での支援を県や国に求められたい。

(以上要旨)を追加しました。具体的な内容の方が当局も取り組みやすいのではないのでしょうか。



皆様のご意見や
ご要望をお寄せください。